

行政視察報告（議会運営委員会）

視察期間

平成十九年八月六日から八月七日まで

視察先と視察事項

長野県千曲市

・一問一答方式を中心に議会運営全般について

長野県須坂市

・一問一答方式を中心に議会運営全般について

視察概要

八月六日、七日にかけて議会運営委員会が千曲市、須坂市に一問一答方式を中心に議会運営全般について視察に行ってきました。

千曲市議会においては、一問一答方式導入に伴い、傍聴席からも質問者の表情が見えるように、議場内に遠隔操作可能なカメラとモニター二台を設置していました。

一般質問に、代表質問と個人質問があり、代表質問は（会派の代表者が質問）三月定例会のみ実施してみえ、「一括質問・一括答弁」方式をとってみえ、質問時間は質問のみで六十分、質問回数は三回までとし、最初の質問は、演壇で行い再質問以降は、自席にて質問

し答弁はすべて演壇で行うとのことでした。

個人質問については、毎定例会実施してみえ、質問時間は質問のみで三十分とし、質問時間の残表示を制限を越えた時点でマイクの電源を切ること、質問形態は対面方式とし質問席が設けてあり、質問者は全ての質問・答弁が終了するまで自席には戻らないとのことでした。



千曲市役所にて

須坂市議会においては、議会改革により、一般質問の一問一答方式を導入するにあたり、議会運営委員会において継続して研究・検討を重ねられ、質問者は二つの方法から自由に選択する方法を取られ、一つは、最初から質問席で質問を行う。この場合は、通告書の件名ごとの質問、答弁とする、件名の最初の答弁は登壇し、再答弁は自席で行う。もう一つは、最初は登壇し、

一般質問、一括答弁の後、再質問は質問席で行うこととし、一括答弁は登壇し、再答弁は自席で行うとのことでした。

両議会とも、一問一答方式は質問内容が明確となり、市民から解りやすいと好評とのことでした。

市議会といたしましては、開かれた議会、親しまれる議会、解りやすい議会とするため検討をして行くことが必要であると考えておりますが、視察をいたしました両市とも、導入するにあたっては慎重に細部に渡って十分審議をされたとのことでした。

議会としましては両市を参考にし土岐市議会に相応しい方式を確立し、市民の関心と信頼を高めるため議会改革の一環として、議会運営委員会において検討をまいります。



須坂市役所にて

決算（企業会計）特別委員会

委員長
副委員長
委員

柴田正廣
平林信一郎
小関祥子
布施素子
高井由美子
宮地順造
長江光則
楓博元